

平成30年度 北海道園芸研究談話会 研究発表会プログラム

平成30年12月2日 於 北海道大学 農学部校舎

午前の部

開始時間	第一会場(3階, S31講義室)	第二会場(2階, S21講義室)
	果樹 座長 田中静幸(道総研北見農試)	葉菜類・機能性 座長 地子 立(道総研上川農試)
9:30	1.アロニア果実の発育に伴う総ポリフェノール含量および抗酸化性の推移 ○長田亜梨沙1・堀川謙太郎1・井上壽哉2・中村秀夫3・実山 豊1・鈴木 卓1 (1.北大院農、2.ホクサン(株)、3.北教大函館)	11.アイヌ民族の伝統的利用法に基づくギョウジャニンニクの収穫時期と株の回復 ○田丸典彦1・木村弘子2 (1.釧路野外教育研究会 2.釧路市東雲小学校)
9:45	2.醸造用ブドウ休眠枝の耐凍性および凍結挙動について ○堀内玲子・荒川圭太・鈴木 卓・実山 豊 (北大院農)	12.LED照射光波長がテーブルビート幼植物体の生育および成分含量に及ぼす影響 ○塩越美咲・長田亜梨沙・志村華子・実山 豊・鈴木 卓 (北大院農)
10:00	3.ハイブッシュブルーベリー若木期における簡易剪定が労働生産性に及ぼす影響 ○池永充伸1・内田哲嗣2 (1.道総研中央農試、2.道総研農研本部)	13.ピノグリーン(コマツナ)の鮮度および内生成分含量に及ぼす1-MCP処理の効果 ○大塚絵理香1・山口敏樹2・志村華子1・実山 豊1・鈴木 卓1 (1.北大院農、2.(株)アド・ワン・ファーム)
	花き・環境制御 座長 高濱雅幹(道総研道南農試)	葉茎菜類 座長 大道雅之(拓大道短大)
10:15	4.ユリ‘きたきらり’の球根養成における凍結前後の温度が新球形成に及ぼす影響 ○歸山敏亮1・森 志郎1・大宮 知2 (1.酪農大、2.道総研花野菜技セ)	14.アスパラガス春芽収穫終了時期の基準値解明調査(第1報) 佐藤元紀(上川農改名寄)
10:30	5.積雪寒冷地における環境制御がアルストロメリアの生育に及ぼす影響 ○梶 悠生・森 志郎 (酪農大)	15.北海道におけるアスパラガスの生産動向 ○地子 立1・宮町良治2 (1.道総研上川農試、2.花野技セ技術普及室)
10:45	6.積雪地帯の厳冬期無加温栽培におけるパイプハウス周縁部への地中断熱処理がハウス内の温度に及ぼす影響 ○古山真一1・大久保進一2 (1.道総研上川農試、2.道総研花野菜技セ)	16.アスパラガス新品種の特性評価(第2報)定植5年目までの特性評価 ○七宮駿仁・内海皓介・園田高広 (酪農大)
	果菜類・緑肥 座長 八木亮治(道総研十勝農試)	葉茎菜類 座長 志村華子(北大院農)
11:00	7.イチゴ‘ゆきらら’の定植期および苗質が生育・収量に及ぼす影響 ○木村文彦・柏谷太亮・黒島 学 (道総研花野菜技セ)	17.アスパラガス半促成栽培圃場における土壌還元消毒がフザリウム属菌密度の推移に及ぼす影響 ○高橋 菜・梅津彰吾・岡崎早織・園田高広 (酪農大)
11:15	8.少灌水と摘花処理がイチゴ‘ゆきらら’の生育および収量に及ぼす影響 ○柏谷太亮・木村文彦・黒島 学 (道総研花野菜技セ)	18.複数の対策の組み合わせがアスパラガス疫病の発生に及ぼす影響 ○田島裕孝1・台丸谷涼2・児玉不二雄3・園田高広1 (1.酪農大、2.酪農大院酪農、3.(一社)北海道植防)
11:30	9.給液量、給肥量がパプリカの収量に及ぼす影響 ○宮森 祐・大道雅之(拓大道短大)	19.直播タマネギ生育初期のカルチ除草と除草剤の組み合わせによる除草効果の検討 ○杉戸智子・林 怜史・吉田晋一・長南友也・中村卓司 (農研機構北農研)
11:45	10.富栄養土壌における緑肥作物のクリーニング効果比較 ○平良菜摘・大道雅之(拓大道短大)	20.北海道東部で栽培されたタマネギ短日性品種の諸特性 ○田中静幸・杉山 裕 (道総研北見農試)

12:00~13:30 昼休み

注) ○印は演者を示します。発表時間は1課題当たり15分(発表12分、質疑3分)です。

発表開始後、10分で1鈴、12分で2鈴、15分で3鈴を鳴らしますので、演者は参考にして下さい。

演者の許可なく講演内容のカメラ・ビデオ等による撮影は禁止します。

※演者の方は、一つ前の発表が始まる前までに、各講演会場前方のPC係に発表スライドの入ったCD-ROMを提出ください

※会報原稿作成時の課題番号は、上記プログラムに記載した通し番号をお使いください

※第二会場(S21講義室)前の総合受付にて年会費の納入が出来ます。ご活用ください

午後の部

開始時間	第一会場(3階, S31講義室)	第二会場(2階, S21講義室)
	果菜類 座長 菅原章人(原子力環境セ)	ウリ科 座長 木村文彦(道総研花野菜技セ)
13:30	21.トマト茎へのリング設置が生育・収量に及ぼす影響 ○熊谷岳也・畑山友祐・山下勝利(岩見沢農高)	29.ペポカボチャ‘ストライプペポ’における種子の薄皮除去法の検討 ○嘉見大助・村田奈芳・杉山慶太(農研機構北農研)
13:45	22.大玉トマトにおける側枝利用2本仕立てが果実肥大に及ぼす影響 ○枝澤奈津美・大道雅之(拓大道短大)	30.異属花粉を受粉したスイカの子房肥大および花粉管伸長の特徴 ○鈴鹿明広1・志村華子1・実山 豊1・鈴木 卓1・杉山慶太2(1.北大院農、2.農研機構北農研)
14:00	23.加工用トマト栽培における株間の違いが収量等に及ぼす影響 ○千田智子1・北藤吉浩2・鳥越昌隆3(1.空知農改、2.JAびばい、3.道総研花野菜技セ)	31.ウリ科作物の属間の受粉による単為結実誘導 ○杉山慶太1・嘉見大助1・村田奈芳1・鈴鹿明広2・実山 豊2・志村華子2・鈴木 卓2(1.農研機構北農研、2.北大院農)
		ウリ科・冬季野菜 座長 嘉見大助(農研機構北農研)
14:15	24.加工用トマトにおける過湿環境への反応性についての品種間比較 —2カ年試験による解析— ○井出涼介・実山 豊・鈴木 卓(北大院農)	32.メロン1番果着果節の上位葉・下位葉の摘葉が果実の品質、肥大に及ぼす影響 ○古島佳祐・大道雅之(拓大道短大)
	塊茎・塊根類 座長 実山 豊(北大院農)	
14:30	25.省力栽培を目指したヤマノイモ無支柱栽培の可能性の検討 ○八木亮治・田縁勝洋(道総研十勝農試)	33.弟子屈町特産「摩周メロン」品種‘摩周レッド’および‘オトメの折り’の品種特性 ○大森慎一郎1・植野玲一郎2・福川英司2(1.花野菜技セ研修生、2.道総研花野菜技セ)
14:45	26.採苗様式がサツマイモ品種‘べにはるか’の生育および収量に及ぼす影響 ○荒木健吾・門脇正行(島根大生資)	34.キュウリにおける整枝法(つり上げ栽培・つる下ろし栽培)別の収量・品質・作業時間 ○菅原章人1・江原 清2(1.原子力環境セ、2.道総研花野菜技セ)
15:00	27.北海道におけるサツマイモの収穫時期と貯蔵条件が品質に及ぼす影響 ○高濱雅幹・尾崎洋人・中住晴彦(道総研道南農試)	35.オホーツク地域における畑作後の冬季野菜生産の可能性 ○出原 慧・中村慎一(ホクレン農総研)
15:15	28.深川産サツマイモの糊化開始温度に関する一考察 ○伊藤ゆみか・岡崎正昭・大道雅之(拓大道短大)	

注) ○印は演者を示します。発表時間は1課題当たり15分(発表12分、質疑3分)です。

発表開始後、10分で1鈴、12分で2鈴、15分で3鈴を鳴らしますので、演者は参考にして下さい。

演者の許可なく講演内容のカメラ・ビデオ等による撮影は禁止します。

※演者の方は、一つ前の発表が始まる前までに、各講演会場前方のPC係に発表スライドの入ったCD-ROMを提出ください

※会報原稿作成時の課題番号は、上記プログラムに記載した通し番号をお使いください

※第二会場(S21講義室)前の総合受付にて年会費の納入が出来ます。ご活用ください